

狭山市入間川七夕まつり

8月2・3日(土・日)に行われた今年の七夕まつり。天候にも恵まれ、会場に大勢の人が訪れました。

飾りも、人の笑顔も、それぞれが七夕まつりの風景です。



色鮮やかな飾りが会場を彩りました。昼間、夕暮れ、夜と飾りの色も、祭りの風景も変わります。



◀徳島市から「トクシィ」も応援に



私の宝物 …

亡夫遺愛の盆栽

私の宝物は、3年前に亡くなった夫が大切にしていた盆栽です。

毎日朝、夕の水やりや剪定、植え替えと手入れは大変ですが、一鉢一鉢に夫との思い出があるので、枯らさないように心を込めて世話をしています。



星野陽子さん
(広瀬在住)

春はやわらかな芽吹き、夏は新緑、秋は紅葉や実なり物、冬は葉の落ちた細やかな枝先と、鉢の中に自然の縮図を見ることができるのが盆栽の魅力。私は小さめの鉢に、水車小屋や人形を組み合わせて、里山や溪谷を作り、ふるさとの風景に思いを馳せています。夫にいつも四季を感じてほしくて、夏は松やひめしゃらの盆栽で、子どものころに野山でせみ捕りをした景色を作り、遺影から見える床の間に飾りました。

これからもこの盆栽で、心和む癒しの風景を作っていければと思っています。

今回は、新狭山にお住まいの方を紹介します。



季節ごとに趣向を凝らし



ホタルが舞う奥富地区を取り戻すために

かつて田植えの時期になると、ホタルが飛び交う光景を見ることができた奥富地区。ところが、近代的な農業手法の普及に伴いホタルは姿を消し、それを見たことがある子どももほとんどいなくなっていました。

そこで地元では、県の「弁天堀水辺再生事業」が完了した3年前からホタルを飼育し始めました。昨年は幻想的な光を放つて飛ぶホタルの姿が多くの人を魅了しましたが、今年は初夏の大雨で幼虫が流されてしまったのか、飛翔数はわずかでした。それでも地域のコミュニティづくりとふるさと意識の高揚に役立つ事業であり、自治会として今後も支援していきます。

ハロー仲間たち Vol.396

健康麻雀 さくら会



私たちは「麻雀を通じて脳力アップ」を合言葉に、3年前から毎週土曜日、柏原公民館で活動しています。

麻雀というと賭け事のように、悪い印象を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、麻雀という競技は指先の細かい作業を必要とし、目まぐるしく変わる卓上を前に相手の手を予想するため、脳の活性化にとっても適しているのです。また、一つ卓を囲んでいると自然と会話も弾みます。

私たちは、「(タバコを)吸わない・(お酒を)飲まない・(お金などを)賭けない」を守り、麻雀を楽しんでいます。今後は得点記録帳を作り、上手な方に指導をしてもらいながら、会員のレベルアップを図りたいと思います。

問合せ村田一典さんへ ☎090-4754-4835

文化財60年のあゆみ ⑥

八幡神社鹿子舞

〔狭山市指定文化財第一号〕

昭和46年4月1日、市の指定文化財第一号となったのが「八幡神社鹿子舞」です。市内の獅子舞の中で唯一「鹿子舞」と書き、毎年9月の「敬老の日」直前の土・日曜日に奉納されます。

明治時代の初め、獅子舞の一行が同社の別当寺(※)であった成円寺を出発したところ、政府の神仏分離政策により獅子は仏教に属するものとして咎めを受けました。このとき「これは獅子でなく鹿子である。鹿は神の使いである」と言って禁を免れたため、それ以来、「鹿子舞」と書くようになったということです。



(※)神仏分離以前に神社に設けられた寺院
八幡神社所在地/入間川3-6-14

今回紹介したものはホームページにも掲載しています。